

山行報告 菜久保沢

- 【山 域】 奥多摩
【日 時】 2016.8.27(土) 早朝発日帰り
【参加者】 CL 柘植 (記録)、SL 吉川、澤田路 【天候】 雨ときどき曇り
【記 録】 腰掛集落 7:45→大久保沢出合 7:55→菜久保沢分岐 8:40→下山尾根上 11:00
鶴川渡渉地点 12:00→腰掛集落 12:10



この週末は各地天候が悪く、当初は土日で奥鬼怒、次に足尾の沢に前夜発土曜日帰りと変遷したが、最終的には近場の早朝発の半日コースとした。場所は上野原北方の権現山の北面の菜久保沢というところ。中央道を走っているときから雨が降ったり止んだり、上野原 IC を降りて下道を走るところから本降りとなって痛くモチベーションが下がる。このままドライブで帰ろうかという声も上がるが、駐車ポイント近くで一時的に小降りになったのでサッと着替えて出発する。今回の沢は結構濡れるらしいので小雨であればあまり関係はない。下降地点を一度間違えて鶴川の上流部に下りてしまい、仕切り直しなどしていたので、30分くらいロスする。一旦車道にあがり、正しい踏跡をたどって鶴川本流に降り立つ。本流は平水よりは多めらしいが、とくに問題なく渡渉して、対面の大久保沢出合に到着。



鶴川本流を対岸へ渡渉



最初の滝は倒木利用で取り付く

今回遡行する菜久保沢は下部で大久保沢と合流して、鶴川本流に流入する。大久保沢は柘植は 2009 年に遡行（石井さん、石橋さん、大塚さんが参加）しているが、下部は小規模だが滝が続いており、結構楽しめた記憶がある。今回も菜久保沢との分岐まではそこをたどる。こんなだったかなーと過ぎし昔の記憶を思い出しつつ菜久保沢との分岐へ。水量が多いので結構大変。吉川さんはカップを着こんで積極的にシャワークライミングで突っ込み、澤田路さんもそれにくっついていくが、柘植はそういうのはパスさせてもらって無難に進む。菜久保沢の上部二俣を過ぎると沢はショボくなるので、左の尾根にとりついて 30 分くらいで下山する尾根の途中に出た。ここから藪尾根を降りてドンピシャで朝渡渉したポイントに出る。鶴川本流は朝より濁って増水しており、慎重に渡渉して腰掛集落に戻った。

鶴川流域は登攀的な沢は少ないが、多摩川流域の奥多摩と比べて交通の便がよく、沢ハイクという感じで楽しめるところも多いので、今後もときどきは訪れたいと思う。 (柘植：記録)

